

2. 新川地方拠点都市地域の課題

本地域においては、少子化や近年の若年層を中心とした人口減少を踏まえて、若者の流入、定着の促進を図るため、若者にとっても魅力のある「職・住・遊・学」の備わった新しい総合的な生活空間を創造することが最大の課題となっている。

また、一方では高齢化の進行や、国際化、高度情報化の進展など新たな時代の潮流に的確に対応していくことも必要となっている。

このようなことを踏まえ、本地域が自立的に成長し、地方定住の核をなすためにマイナスになっている要素、プラスに作用する資源や諸要素を抽出し、整備課題を明らかにしていく。

1) 地域活性化にマイナスとなっている要因

世界的な優良企業の存在、国際的な交流の舞台ともなりうる著名な温泉郷、観光資源等を有しながらも、次代を継承する若者の地域外への流出による人口の減少が、地域活性化に大きなマイナス要素として働いている。これら若者の流出等の要因には次のことがあげられる。

- ① 中心商店街に空き店舗が見られるなど若者をはじめとする賑わいを創出する人々の滞留が生まれにくい状況となっている。また品揃えの面でも新しいトレンドや多様化する若者のニーズをつかみきれておらず、“買いたいもの”が“買いたいとき”にないという不満があること。
- ② モータリゼーションの進展に伴う郊外店の進出などから、賑わいの核となる中心市街地の商業機能が弱体化している。
- ③ また、既存市街地において駐車場の確保が行き届いていないことから、消費者が郊外店に流れている。
- ④ 日常的に気軽に芸術・文化に触れる場が少ないこと。（主にソフト面）

2) 地域活性化にプラスになる諸要素

本地域において、地域の活性化に向けてプラスになる資源・諸要素としては、次のことがあげられる。

- ① 北陸の大動脈として機能している北陸自動車道や平成26年度末までの完成を目指す北陸新幹線の新黒部駅（仮称）の建設など、高速交通体系の整備が着実に進められていること。
- ② 地域全体の芸術・文化の拠点として新川文化ホールや黒部市国際文化センター等各種の文化施設が整備されていること。
- ③ 国際的な企業が立地し、産官民一体となった国際交流が活発に行われていることや関連企業の進出があること。
- ④ 雄大な北アルプスを背景に、緑豊かで広大な黒部川扇状地が展開するとともに、湧水等に培われた独自の水文化が数多く育まれていること。
- ⑤ 黒部峡谷、宇奈月温泉、蟹気楼等の国際的な観光資源やヒスイ探索、海洋レジャーを楽しむ宮崎境海岸等豊かな観光レクリエーション資源に恵まれていること。
- ⑥ 製造業を中心とした産業集積がなされており、特にIT関連産業において、一層の集積が図られていること。

3) 時代の潮流への対応

以上のような本地域固有のマイナス要因、プラス要因に併せ、次のような時代の潮流にも的確に対処していくことが重要となっている。

① 高齢化社会への対応

本地域の高齢者（65才以上）の割合が、県平均を上回って推移し、本格的な高齢化社会の到来を迎え、高齢者が心身ともに健康で充実した生活を送られることをめざして、保険・福祉・医療面で地域が一体となった支援体制づくりが求められていること。

② 国際化への対応

情報・通信手段や交通手段の発展に伴い、人、物、情報の流れが地球的規模で飛躍的に拡大しており、本地域においても、姉妹都市提携を通じて、地域住民と外国人とが接する機会が多くなっている。このような国際化の進展に対応し、積極的に外国人を受け入れるまちづくりを進めつつ、様々な国際交流を展開していくことが求められている。

③ 高度情報化への対応

近年、経済のソフト化や国民生活の多様化とコンピュータ技術や通信技術の飛躍的発展により、情報に対するニーズが急速に高まり、情報それ自体の価値が増大する高度情報化社会に入っている。また、高度情報化は産業分野にとどまらず家庭生活などの分野においても進展してきており情報化を積極的に住民生活の向上や地域の発展に結びつけていくことが求められていること。

4) 整備課題

以上のことを踏まえて、本地域が地方拠点都市地域として、自立的成長を図っていくための整備課題を整理すると、次のとおりとなる。

- (1) 若者の賑わいの核となる、ゆっくりと時間を過ごせるような商業・アミューズメント空間の整備と芸術・文化の拠点づくり。
- (2) 若者が注目するような魅力ある企業環境づくりと、先端性・創造性に満ちた新たな就業機会の確保。
- (3) 国内外との交流機会の一層の拡大と、外国人を受け入れるための体制や受け入れ施設・機能・条件等の整備充実。
- (4) 緑豊かな扇状地平野等の自然環境や湧水等に培われた独自の水文化を活かしたうるおいのある居住環境の整備。
- (5) 立山黒部アルペンルートや宇奈月温泉、宮崎境海岸など多彩な資源を活かした国際的広域観光の推進や、自然との体験交流機能や観光レクリエーション機能の強化。
- (6) 高齢者が健康で充実した生活を送れるための広域的な支援体制の整備。
- (7) 地域ネットワークであるケーブルテレビ網を活用した情報の提供。